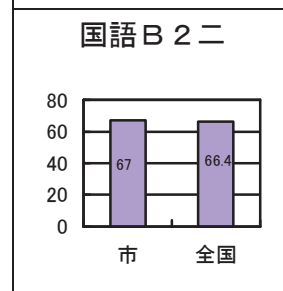
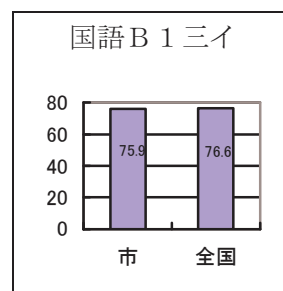


◇正答率から見た現状

	設問	出題の趣旨	市	全国	差
B	1三ア	資料に表れている工夫を自分の表現の役に立てる。	65.7	59.1	6.6
	1三イ		75.9	76.6	-0.7
	2二	文章から必要な情報を読み取り簡潔にまとめて書く。	67.0	66.4	0.6
	3三	詩の内容や構成, 表現上の特徴などを踏まえて写真を選び, 詩と関連付けて自分の考えを書く。	82.4	80.8	1.4



☆ 国語B「活用」に関する問題

- 1三アの問題は、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てることができるかどうかを見る問題である。資料には見出しの表現として「館内について知りたいとき」「めずらしい絵本に出会いたいとき」等と書かれており「～のとき」という表現を解答する際に利用できれば正答になる。文末の表現まできちんと読み取ることができていたかが問われている。
- 1三イの問題も上記のアと同様に表現の工夫を見る問題である。受付カウンターの役割を来館者に分かりやすく、簡潔に説明しなければならない。入れなければならない内容が3つと使わなければならない言葉が3つあり、クリアしなければならない条件が多かったのが難しかったようである。
- 2二は文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書く問題である。発光ダイオードの特徴について箇条書きで3つ書き出すものだが、「まず」「次に」等の接続詞に着目できていないと抜き出すのが難しい。

◇ 課題等

- 課題1 相手の話をしっかりと聞き取ろうとする態度の育成を図ること。
- 課題2 相手意識を持った文章を書こうとする態度の育成を図ること。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1・2】 《B活用に関する課題》

◇関連する単元

- 1年：「分かりやすく書こう」「分かりやすく話そう」2年：「立場を決めて話し合おう」
- 3年：「広告・宣伝文を作ろう」

◇背景にある問題点

- ▼ 相手に自分の言った言葉や書いた文章がきちんと伝わったのかを確認しようとする意識の有無が問題となる。

## 課題1の対応策

### 指導のねらい

- ・話し相手の意図を考えながら聞き取ろうとする態度を育成することができるようにする。

### 授業例

#### 教材例

1年 話す・聞く  
「聞き上手になろう」  
(準備)  
・構成的グループエンカウンターに関する本に具体例が記載されています。

#### 学習の流れ

- ① 「良い聞き方」「悪い聞き方」の実施。
- ② 「良い聞き方」とはどんな聞き方か考える。
- ③ RPGを使った話の聞き方の練習。

エンカウンターで使われる「良い聞き方・悪い聞き方」を利用し、聞く相手の態度が話す相手にどのような影響を与えるかを理解させる。また、「良い聞き方」について具体的にどのような方法があるのかを考え、RPGを通して実践できるようにさせていく。

日常生活の中でも活かせる技術でもあるので、実践させていきたい。

## 課題2の対応策

### 指導のねらい

- ・読み手を意識した文章を書き、効果的に伝わるように工夫する態度を育成することができるようにする。

### 授業例

#### 教材例

3年 書く1  
「広告・宣伝文を作ろう」  
(準備)  
・映画チラシ  
・新聞折込チラシ

#### 学習の流れ

- ① キャッチコピーとは何か。
- ② 部活動や学校等の紹介文を書く。
- ③ 読み手の心を捉えるキャッチコピーを考える。

全国学力調査の「国語B 1三」の問題にも図書館の案内板に関する問題が出題されている。短時間で効果的に自分の伝えたいことを伝える文章というのは、なかなか難しいものである。相手意識を持ち、精選された言葉で伝えるキャッチコピーは良い学習活動になると思う。